

研究の全体構想

【学校の教育目標】
『自ら学び、考えて行動する児童の育成』

【目指す児童像】
かしこい子 明るい子 たくましい子

児童の実態
家庭の願い
地域の願い
教師の願い
社会の要望

「自分の考えをもち、進んで表現できる子の育成」

～基礎・基本の定着を図り、思考力・表現力を育てる算数指導の工夫～

【目指す児童像】

見通しをもち、筋道を立てて考え、進んで表現する子

〈低学年〉

自分の考えをもち、伝えられる。
友達の考えが分かり、認めることができる。

〈中学年〉

自分の考えを分かりやすく伝えられる。
友達の考えと比べながら聞くことができる。

〈高学年〉

自分の考えを筋道立てて伝えられる。
色々な解き方を関連付けて考えることができる。



〈仮説1〉

問題提示の仕方を工夫し、課題を明確にすれば、意欲をもって学習に取り組めるであろう。

〈仮説2〉

課題と既習事項を関係付けられれば、自力解決ができるであろう。

〈仮説3〉

互いに考えを伝え合う場を充実させれば、思考力・表現力を身につけることができるであろう。



〈視点1〉

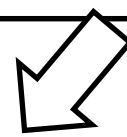
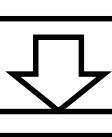
問題提示の工夫

〈視点2〉

見通しをもたせる工夫

〈視点3〉

伝え合いの工夫

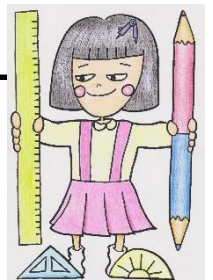


手立て

算数コーナー
具体物
半具体物
ICTの活用

学習形態
板書
算数学習の進め方

ヒントカード
ノート指導
ワークシート
適用問題



砂土子ちゃん